

	現行計画における重点施策	新計画における重点施策（案）	現在の主な取組	今後の方向性	考えられる施策案
(1)	広域的な普及啓発	効果的な普及啓発	相談窓口に関する情報提供（リーフレット配布等）	継続	紙ベースの普及啓発と並行し、ウェブ広告やSNS等のデジタル媒体を中心とした普及啓発
			自殺防止！東京キャンペーン（普及啓発）	継続	
			ゲートキーパー普及啓発（WEB広告等）	継続	「助けてって、言っていんだよ」など、援助希求性を促す取組
			都ホームページ「こころといのちのほっとナビ」	継続	ホームページに掲載する相談窓口の更新、充実等
			検索連動広告	強化	調査研究結果を踏まえた効果的な運用
(2)	相談体制の充実	相談者が利用しやすい相談体制の確保	東京都自殺相談ダイヤル	継続	新規の方の相談を優先して受けたり、相談員につながる前に自殺念慮の度合いやリスクなどがわかる仕組みの導入等
			SNS自殺相談	継続	
(3)	若年層対策の推進	大学生・専門学校生をはじめとする若年層対策の強化	小中高校生向けポケット相談メモの作成・配布	継続	訴求対象ごとの取組の強化 特に、都においては児童・生徒等の自殺者のうち大学生・専門学校生等の自殺が占める割合が全国と比較して多いため、大学の保健管理センターと連携した公開講座等
			学校における取組（児童・生徒のSOSの出し方に関する教育の取組等）	継続	
(4)	職場における自殺対策の推進	(同)	職域向け自殺防止対策事業	継続（見直し含む）	リワーク（うつ病などの精神面の不調から休職した人の、職場復帰を支援するプログラム）等との連携

	現行計画における重点施策	新計画における重点施策(案)	主な取組	今後の方向性	考えられる施策案
(5)	自殺未遂者の再度の自殺企図を防ぐ	自殺未遂者支援の強化	自殺未遂者対応地域連携支援事業 ～東京都こころといのちのサポートネット～	強化	○都における相談窓口の強化 ○区市町村における自殺ハイリスク者への継続的な関与・支援を行う仕組み（医療機関や他の相談窓口との連携に向けた体制の構築）
			自殺未遂者支援に関する人材育成 （自殺未遂者支援研修）	強化	区市町村職員向け人材育成の強化
(6)	遺された人への支援の充実	(同)	遺族への情報提供 （自死遺族支援）	強化	自死が起こった直後から遺族のニーズに応じて対応することができる相談窓口の設置
			分かち合いの会等、民間団体が行う遺族支援対策への財政支援	継続	
(7)		(新) 自殺者数の直近の動向を踏まえた施策	<p>近年自殺者数が増加している層や過去5年間で自殺者数の多い区分の特性等を踏まえた重点施策</p> <p>(具体例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●DV被害者への支援対策 ●妊娠されている方、産後間もなくの方への支援対策 ●依存症（薬物、ギャンブル、アルコール）対策 ●中高年男性対策 ●専業主婦への支援対策 ●非正規雇用の女性への支援対策 ●LGBT（自殺念慮の第一ピークは第二次性徴による身体変化に対する焦燥感、制服や恋愛の悩みなどが重なる思春期、第二ピークは就職・結婚など社会に出る時期） 		幅広い世代が多数訪れるハローワークや新型コロナウイルス検査会場等におけるこナビ等の周知 等